

第1学年 授業改善推進プラン

	課題 ※児童の実態から	授業改善の手立て
国語	・拗音、促音、助詞などはまだ習得しきれておらず、書き誤りが多い。 ・聞く力、読む力については個人差が大変大きい。	・学習プリントや簡単な文や日記を書くことで、助詞の使い方等を繰り返し指導していく。 ・相手のことを意識し分かりやすく順序を意識して話せるようにしていく。聞き手が、自分のこととして興味をもって聞けるように聞く視点を明確にする。 ・様々な形態で音読することを繰り返し行い、文章をしっかりと理解させた上で読み深める話し合い活動を行い、読む力を高める。
算数	・自力解決に個人差がある。 ・たし算、ひき算の文章問題で問われていることを理解し、的確に答える点につまずきが見られる。	・ブロックなどの半具体物操作から、解決を図るようにする。 ・フラッシュカードや計算カードを使用し、計算処理能力を定着させる。 ・問題を読み取る手順をパターン化し、指導する。特に、問われていることを意識してから、問題を解くようにする。 ・予想される児童の活動をもとに、自力解決に必要な具体物を用意したり、助言したりする。
生活	・校内で異学年など身近な人々と関わる活動には大変意欲をもって取り組み、気付きも多く、よく交流することができるが、ルールやマナーについては個人差が大きい。 ・カードに記録する際、文・絵ともにどう表現していいか悩む児童も多い。	・異学年や保護者や地域の方々との交流を通してルールやマナーを学んでいける活動を繰り返し、自分と周囲の人との関わりや成長を実感させていく。 ・身の回りの自然（中庭、こげらの森など）と関わりながら、四季の変化に気付けるよう、自然と関わる時間を十分に確保する。 ・活動の記録やまとめには、各自の気付きを自覚できるよう支援し、相手に伝わるように表現させていく。 ・調べ方やまとめ方、発表の仕方について必要な支援をしていく。
体育	・どの活動にも関心をもち、楽しく運動ができるが、運動能力や運動経験に差があるので、様々な動きを体験させる必要がある。	・ルールが単純な遊びを繰り返し行い、ルールを守ることによって楽しく運動できることに気付かせる。 ・運動のポイントを具体的に分かりやすく伝え、簡単な動きから徐々に動きを増やすことで、児童が達成感をもち、意欲的に運動に取り組めるようにする。 ・運動時間を多く確保し、運動能力を高める工夫をする。
道徳	・集団生活のきまりや、友達との関わりについては、だいぶ自覚をもてるようになってきた。道徳の時間で考えたことや気付いたことをこれからの自分に生かせるよう、指導を継続していく必要がある。	・児童の実態把握を密に行い、ねらいを明確にして教材を活用し、授業の内容を充実させる。 ・他教科や学校行事等との関連を図り、適宜道徳の年間計画を見直す。 ・児童の気付きや考えを引き出せるような教材、教具、板書の工夫をする。また、学んだことを定期的に掲示することで、児童が振り返ることができるようにする。

第2学年 授業改善推進プラン

	課題 ※児童の実態から	授業改善の手立て
国語	・「書く」では、文章の構成を意識して作文することや会話文を入れた簡単な文章を書くことにつまずく児童もいる。 ・新出漢字の関心は高いが、定着の個人差が大きく、簡単な文章で活用ができていない児童が多い。	・あのね帳や行事作文に取り組ませ「はじめ」「中」「終わり」の文章の組み立てを意識させる。基本的な原稿用紙の書き方の定着を図る。また、文章中に気持ちや会話文を積極的に取り入れさせ、表現力を高めていく。 ・漢字の定着を図るために、ショートテストの練習回数を増やしていく。また、既習の漢字に関しては、意識的に活用するように指導していく。
算数	・文章問題への苦手意識が高く、題意を捉えられず、立式でつまずく児童が多い。 ・自力解決学習では、自分の考えを表現することにおいて個人差が大きい。 ・「時刻と時間」の理解の差が大きい。	・文章問題の反復練習をする時間を多く取り入れ、計算力を強化する。同時に見直しの習慣をつけていく。 ・「速く・簡単・正確に」を意識させ、文や図・式など自分の考えを表現しやすいものを選択させ、児童相互に伝え合う活動を通して、自力解決の力を育成する。 ・日々の学校生活から時計を見ることや日常会話で時刻や時間を意識的に取り上げ、理解の定着を図る。
生活	・観察カードなどに見たことを表現することはできているが、思ったことや気付いたことを表現することにつまずく児童がいる。	・考えを聞く場面や観察カードをお互いに発表する機会を作り、自分の考えを整理し、表現力の向上を図る。
体育	・グループでの活動によって、できるようになったことを認めあっている。今後、更に定着化を図る。 ・安全に対する意識を高める。	・集団での協力する場面を多く取り入れ、規則について工夫し、安全に楽しく運動できるようにする。 ・指導する前に安全に配慮した指導を行って、気持ちを落ち着かせるようにする。
道徳	・役割演技などを通して、教材文から価値に迫ることはできているが、自己の生き方についてまとめる活動につまずく児童がいる。	・役割演技の後の発言を重視し、考えや思いの違いに気付かせる。

